

泌尿器科

1. 目的と特徴

泌尿器科専門医および腎疾患専門医の養成を目的とする研修プログラムである。おもに泌尿器科、腎不全外科の臨床研修を行う。研修修了時までには日本泌尿器科学会専門医（5年）、日本透析医学会認定医（5年）、日本腎臓学会認定専門医（6年）などの認定医試験の受験資格を得ることができる。

2. 指導スタッフ

教授・基幹分野長	高木敏男	教授（兼任）	石田英樹
准教授	飯塚淳平、清水朋一	講師	平井敏仁、吉田一彦

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学本院（新宿）泌尿器科を本プログラムの管理および実施の基幹施設として、それに関連施設を加えた専門医教育機構が本プログラムの実施機関である。

関連施設：東京女子医科大学足立医療センター、東京女子医科大学附属八千代医療センター、東京都保健医療公社大久保病院、戸田中央総合病院、済生会川口総合病院、済生会加須病院、徳島川島病院、至誠会第二病院、常盤病院、勝和会病院、済生会熊本病院、千葉西総合病院

4. 研修カリキュラム

A：目標

社団法人泌尿器科学会専門医制度のための研修目標に準拠し、「泌尿器科領域の医療、福祉に関する問題について、社会のニーズに対応し、一般的初期研修を修得した上の専門医として、医の倫理にもとづく診療を適切に実施し、境界領域の疾患の処置についても正確に対処でき、かつ科学的に対応し研究できる態度や能力を養う」ことを目的に研修を行う。

実際の研修を遂行するにあたり、一貫性をもって段階的にすすめることが重要であり、患者の診察、検査、手術、術前術後の管理、退院後のフォローなど、診療の責任分担も含め年次毎に計画されている。

B：行動目標

東京女子医大泌尿器科教室では後期研修医プログラム（当科ホームページ参照）にのった後期研修医のための教育育成を2007年4月より開始した。

研修病院において指導医は以下の教育を後期研修医に施す。

- I 週1回の手術カンファレンス
- II 週1回の外来カンファレンス
- III 月2回の腎移植カンファレンス
- IV 月1回の腫瘍カンファレンス
- V 月1回のレントゲンカンファレンスおよび病理カンファレンス
- VI 2月に1回の学外専門講師によるUrology Forumへの参加（絶対義務）
- VII 年1回以上の学会提供による教育プログラムへの参加
- VIII 年1回以上の泌尿器科単位認定学術集会への参加
- IX 年1回以上の大動物利用腹腔鏡技術トレーニング
- X 5年間で1編以上の論文の作成（症例報告でも可）

①研修1・2年は指導医のもとに教育を受けること原則とする。

- ② 3年・4年は指導医は間接的な立場で教育に当たることとする。
- ③ 研修5年目は病棟班長としての責務にあたり将来的な方向性およびキャリアアップのための成熟期間とする。

C：年次別研修スケジュールと研修内容概略（以下は基本的なスケジュールであり変更となることがあります）

研修1年次（病棟）

術前術後管理、手術（助手）、内視鏡を含めた各種検査など

研修2年次（病棟）

術前術後管理、手術（術者）、診断学など

研修3年次（出張）

術前術後管理、診断学、泌尿器科専門医

準備期間

研修4年次（病棟）

術前術後管理、手術（術者）、診断部門選択など

研修5年次（病棟）

術前術後管理、病棟チーフレジデント、手術、学会発表、専門医試験など

D：週間予定（以下は基本的なスケジュールであり変更となることがあります）

月		手術、検査	
火	手術カンファレンス	手術、検査	医局会（月に1回）、部長回診、学会予演会
水		検査	
木	外来カンファレンス	手術、検査	移植カンファレンス、腫瘍カンファレンス、学会予演会
金		手術、検査	大学院カンファレンス
土	班回診	手術、検査	教育 Urology Forum（2ヶ月に1回）

E：評価

全体としては教授—准教授—講師、准講師—助教—後期臨床研修医—初期臨床研修医により構成される。

病棟診療班体制：2班（プラス外来班）あり、それぞれ班長（助教）が直接指導する。

研究グループ：それぞれの専門領域の患者に対しては、診察、検査、治療方針など必要に応じ担当医に助言・指導する。

他領域の疾患を合併する場合は、他診療科の専門医による診察を依頼し、その指導・助言をうける。研修医が当直する場合は原則として2人当直とし、指導を受ける。

スタッフおよび医長により逐次評価を受ける。

後期研修においては臨床的能力と共に研修医に対する指導力も評価される。

5. 後期臨床研修修了後の進路

プログラム修了後のコースはスタッフ内で協議され適正に応じて採用も可能とする。

6. 学位

研究論文が掲載された後、教授・基幹分野長との協議のもと、医学博士の学位申請が可能である。臨床大学院生は博士課程の修了時に医学博士の学位が授与される。

7. 専門医

社団法人日本泌尿器科学会専門医および指導医、日本透析医学会認定医および指導医ならびに日本腎臓学会専門認定医および指導医、内分泌外科専門医および指導医、移植学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、腎移植臨床学会専門医、泌尿器内視鏡学会技術認定

医、ロボット手術プロクター、日本癌治療認定医の取得が可能である。（当科ホームページ参照）

泌尿器科学会専門医認定までのタイムスケジュール

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	初期研修開始											
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	初期研修終了											
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	専門医研修開始宣言											
4年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	学内中間評価											
6年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	学内最終評価											
7年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	専門医受験申請			(資格審査)			試験			認定 (10月1日付)		

8. 問い合わせ先

162-8666

東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学泌尿器科

医局長 小針 悠希 (こばり ゆうき)

TEL 03-3353-8111 (内線: 33331)

FAX 03-3356-0293

メールアドレス ikyokucho.twmu.uro@gmail.com

東京女子医科大学泌尿器科ホームページをご参照ください。

<http://www.twmu.ac.jp/TWMU/Medicine/RinshoKouza/094/Urology/>